

## エンテロウイルス D68 型の検出について

弛緩性麻痺との関連が指摘されているエンテロウイルス D68 型を、県内で約 3 年ぶりに検出しました。

### ➤ 患者情報

1 歳 6 ヶ月男児。入院。散発、家族内発生なし。診断名は喘息様気管支炎で、発熱は最高 40.2℃。発病 2 日目の 9 月 22 日採取の鼻汁検体から EV-D68 を検出。

### ➤ エンテロウイルス D68 型とは？

エンテロウイルス D68 型 (EV-D68) は、発熱や鼻汁、咳といった軽度のものから喘息様発作、呼吸困難等の重度の症状を伴う肺炎を含む様々な呼吸器疾患の原因ウイルスです。

2014 年には、米国でアウトブレイクの発生が報告され、日本でも、2015 年秋に全国的な流行がみられました。また、急性弛緩性麻痺 (AFP: Acute Flaccid Paralysis) の患者から EV-D68 が検出されており、その関連が指摘されています。

### ➤ 国内の検出状況

病原微生物検出状況 (2018 年 11 月 8 日作成) によると、2015 年には全国的な流行があり、9~11 月頃にかけて 285 株の検出がありました。2016 年には 1 株、2017 年には 6 株と検出は少なかったですが、同様に秋に検出がみられました。2018 年は、9 月末から現時点で 31 株の検出があります。

また、全国では AFP の報告が 10 月頃から増加しています。広島市では、AFP 患者から EV-D68 が検出されたとの報告もあります。

### ➤ 奈良県内の検出状況

奈良県では、EV-D68 の検出は 2 件目になります。前回は、2015 年 10 月に 1 株検出されました。前回の検出では、患者の臨床診断名は肺炎でした。

### 【参考】

- ・ IASR 急性脳炎および急性弛緩性麻痺患者からのエンテロウイルス D68 型の検出—広島市  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/2335-disease-based/a/ev-d68/idsc/iasr-news/8412-466p02.html>
- ・ IASR 東京エンテロウイルス D68 が検出された小児の 3 例—東京都  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/a/ev-d68/2335-idsc/iasr-news/8400-466p01.html>
- ・ 急性弛緩性麻痺を認める疾患のサーベイランス・診断・検査・治療に関する手引き  
<https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disease/AFP/AFP-guide.pdf>